

学校新聞

平成 27 年度

「薫風」第 4 号

7 月 15 日 (水)

# 薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日制課程 〒142 - 0042 品川区豊町 2 - 1 - 7

## 反省から目標を、そしてよい2学期のスタートを！

東京都立大崎高等学校長 白井 克昌

1学期が終わり夏休みを迎えます。この約4か月間の学校生活を振り返り、9月からの2学期に向けたよいスタートができるよう、夏休みは自分の目標を明確にもって過ごしてほしいと思います。特に、一日一日の生活リズムを整え、しっかりと勉強や部活動などに取り組み、進路実現に向けて一步一步と努力してください。

まず、明確な目標をもつために、1学期の学校生活を学習面、部活動などの面から自分自身で振り返り、反省することから始めることです。「反省」という言葉には、「自分のしてきた言動をかえりみて、その可否を改めて考えること。」という意味があります。自分で努力したことについては自分を誉め、諦めてしまったことや思うようにできなかったことについては原因を考える必要があります。反省することで、自分なりの目標を見つけやすくなります。

次に姿勢についてです。学校が、先生が、何かを考え与えてくれるだろう。そういう受け身の姿勢からは、何も得られません。この夏休み、高校生活を充実するには、自分が、どう積極的に取り組むか、自分の問題になります。先生や友達、家族に相談して、いろいろな人の意見を参考にして、目標や進路を決めることが望ましいと思います。しかし、あくまでも主体は自分です。自分自身で決めて目標を立てて行動しなければ何も変わりません。どんな小さなことでも一歩を踏み出すよう主体的に取り組むことを心がけましょう。

2学期から身だしなみ指導を強化する取組がスタートします。本校では「時を守り、場を清め、礼を正し、公共を意識する」の指導を基本としながら「自信と誇り」のある生徒を育てています。こうした指針をしっかり定着させていくために、化粧をしないことやスカートを短くしない、ズボンを下げないことなどについて、高校生らしい飾り気のない清楚で端正な身だしなみを保つようにしていきます。9月1日から朝の校門指導を行いますので、生徒が服装などの身だしなみを整えて登校するよう保護者の方々にも御理解・御協力をお願いします。

最後に、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市で、津波により流されたお店の基礎から、ひまわりが津波にも塩害にも負けず開花しました。石巻の人々は、このたくましい姿に勇気もらい「ど根性ひまわり」と命名しました。今回、がんばろう!石巻の会事務局から「ど根性ひまわり5世の種」が届きました。大崎高校の防災活動支援隊が、東日本大震災を風化せない活動として、学校で育てることにしました。大崎高生も「ど根性ひまわり」のように強く逞しく成長し、周囲に勇気を与えるような存在になってほしいと思います。夏休み中に開花しますので、ご覧いただければ幸いです。



## ○進路実現に向けて夏休みを有効利用しましょう

進路部主任 武藤かおる

梅雨明け間近、暑さが一段と強くなりました。例年より早い夏休みが始まります。

3年生は決戦の夏休みの始まりです。まずは、進路実現に向けて悔いが残らないように十分な計画を立てましょう。1学期に配布した進路の手引きや総合学習ファイルを活用してください。

夏休みは受験科目や進路先に必要な科目をじっくり取り組む絶好のチャンスです！自分が取り組む具体的な計画を立て自宅の勉強机の前に「目標」を紙に書いて貼りましょう。くじけそうな時は「目標」を見て気持ちを奮い立たせていきましょう。そして、夏休みは夏期講習に参加しましょう。目標を同じくする仲間との存在はお互いの助けになります。また、AO入試の課題はこの時期に完成させましょう。合格が決まるまでは、受験勉強も並行して行ってください。

まだ受験先が決まっていない生徒は受験勉強と並行して夏休みの前半に計画し、オープンキャンパスの日程など組み込み、受験科目、受験方法も十分に検討し、早くに進路先を決めましょう。進路先が決まれば、勉強にも力が入ります。

1年生、2年生は、40日間の長い夏休みを有効利用してください。学校での講習に参加して苦手な教科を克服する、好きな科目をとことん勉強する、更に、部活動を毎日やる、自分で計画を立てて旅行に行ったり、ボランティア活動や地域の行事に参加するなどして校内外の活動に大いに参加しましょう。その体験・経験は将来の仕事や進学後に学びたい分野等について考える時に必ず役に立ちます。それから、毎日読書や新聞を読む時間を作りましょう。本や新聞から得られる知識で身に付く力は、将来、社会人として不可欠な知識や常識、文章の表現力、言葉の使い方等になります。“将来のため”という意識を持って取組んでください。

2年生は夏休みの宿題にもなっている大学・専門学校のオープンキャンパスには是非、参加しましょう。複数の学校を見ることで、それぞれの学校の違いに気づきます。

宿題は早めに済ませ、充実した夏休みを送ってください。2学期に一回り成長した皆さんに会えることを期待しています。

## 夏に頑張る

3学年主任 鈴木 勝雄

1学期もいよいよ終わりです。やっと終わりになるという人、もう終わりという人、人それぞれによって感じ方は違うでしょう。3年生の1学期は担任としてもいつも感じるのですが、改めて早いなと実感しているところです。卒業学年であるということと、進路活動が本格的になってきて日々を慌ただしく過ごしているということが大きいのかもしれません。

6月の三者面談では各自の進路の方向性を決定し、今後その実現に向けてどのように取り組んでいくべきかを三者で確認したところです。中にはまだ進路先を迷っている生徒もいるようですが、そのような生徒はできるだけ早く決定し、その実現には何が必要かを認識して実行に移していくといった、次のステップに進むことが大切です。多くの生徒は、すでに決めた進路の実現に向けて計画的に進めていることと思いますが、自分が計画した予定と実際の進み具合はどうでしょうか。何事も予定通りに進めていくことは難しいことです。時には見直しが必要になることもあるでしょう。それでも必ず努力が結果に結びつくと信じ、最後まであきらめないで自分の決めた進路に向き合って下さい。

これから始まる夏休みは、多くの時間を進路実現に向けて使うことができます。大学進学希望の生徒は、とにかく合格に向けた勉強をすることです。学校の講習等を利用して計画的に進めて下さい。専門学校希望の生徒は、後悔しないようにじっくりと時間をかけて自分に合った学校選びをして下さい。また、就職希望の生徒は、しっかりと会社見学をして9月の入社試験に臨めるようにすることです。

夏休みの取り組みが進路実現に向け、大きなカギとなります。

## 夏季休業中の過ごし方

2学年主任 小島 弘之

1年後、2年生の諸君は、自らの進路希望を明確にして、真剣に日々を過ごしていることでしょうか。そうしなければ困るのですが、3年生になって、「私はどのような進路に進んだらよいのでしょうか」と担任に相談する生徒がいるというのが現実です。それでは遅すぎます。この夏休みにしっかりと進路研究をしましょう。

進学を希望している諸君には、夏休み中、関心のある上級学校を訪問してもらいますが、正確な情報を収集してください。安易に志望校を決めると、後で後悔することになります。

就職を希望する諸君は、夏休み中、進路指導室で担当の先生に許可を得て求人票を閲覧してみましょう。今のうちから、業種や職種についての知識を得て、自分の進むべき道をしっかりと見定めてください。

大切なのはしっかりとした夏季休業中の計画を立てることです。その際、必ず起床と就寝の時間を決めてください。夜更かしをして怠惰な日々を過ごしてはいけません。

志（明確な進路意識）と規律ある生活が未来への道を開きます。

夏季休業中は、家族とのコミュニケーションも大切にしてください。進路についても一人で決めるのではなく、保護者とよく話し合っただけで決定しましょう。

ひとりの時間も大切です。夏休み中も読書をしましょう。そして、自己と向き合い、「自分の長所は何なのか、どのような人生を歩みたいのか」といったことを自分に問いかけてみてください。健康にも十分に留意し、充実した夏休みを過ごすことを願っています。新学期、諸君の元気な顔を見るのを楽しみにしています。

## 一生で一度の高1の夏休み

1学年主任 廣見 卓哉

高校生活が始まり、あっという間に3か月が過ぎ、夏休みを迎えることになりました。

この1学期、どのように過ごしたでしょうか。1年生諸君の様子を見てみると、学校生活にも慣れ、勉強を中心として、その他、委員会活動や部活動に励んでいる姿が見受けられます。「誇りを胸に」大崎高校生活を満喫している生徒が多いことは喜ばしい限りです。

さて、1学期の成績が手渡されたことと思います。どうでしたか？頑張った成果のあがった生徒、振るわなかった生徒がいることと思います。よく振り返り、反省すべき点は反省し、勉強面で足りなかった面は自分なりに夏に補強し、新学期を迎えて欲しいと思います。毎週の週間学習計画表を見ても、勉強をやっている者とやっていない者の差が大きくなってきています。高校生活の中心は何と言っても勉強！しっかり取り組んでください。

高校生活初めての夏休みを迎えます。この夏休みは、実は非常に貴重な時間です。生徒諸君には、先日の「職業から文理選択を考える」総合学習の時間、また、2年生に向けた科目選択説明会が行われましたね。秋の文理選択に向け、変更できるのは今のうちと考え、よく自分の将来を考えてみてください。ゆっくり考え、職業を調べてみるのもいいでしょう。秋の選択の時は迫っています。人生は選択の連続です。何かを選択し、何かを捨てていかねばなりません。決断を何度も迫られます。高校受験でも学校選択で迷った人もいるでしょうが、迷いながら、決断を下し選択していくのが人生なので、これが続くわけです。悔いのない決断をするために、しっかり準備をして下さい。

最後に、40日間の夏休みを、充実したものにするか否かは自分次第！「よく遊びよく学べ」という言葉がありますが、充実した学びと、充実した遊びをうまく配分し、二度とやってこない高1の夏休みを実りあるものにして下さい。一回りも二回りも大きく成長した姿が見られることを期待しています。

## 身だしなみ指導について

生活指導部主任 湯川 泉

この度、大崎高校では制服等における身だしなみ指導を強化することといたしました。

現在の制服は、平成23年度より導入され、4年の月日が経ちました。

この間に、それまでの生活指導課題でありました頭髪・服装・装飾品・携帯電話等の指導に着手し着実に成果を上げ、生徒たちも落ち着いた学校生活を送っております。

しかしながら、すべての生活課題が解決したわけではなく、現在、「女子生徒のスカート丈の長さ及び化粧」、「男子生徒のズボンずりさげ、裾の不必要な捲り上げ」、「男女共通のワイシャツの前はだけ」等の「身だしなみ」に関する指導の必要性が挙げられております。

特に、女子の化粧・スカート丈の長さが一因となり、女子生徒が不審者の被害に遭うという指摘（荏原警察署）、また奉仕活動の現場において地域住民から同様な女子の化粧とスカート丈、さらに男子のズボンずりさげの指摘を受けています。

このため下記のとおり、生徒手帳にある高校生らしい見だしなみを心掛けさせ、生徒が自己実現や進路実現に向けてより充実した学校生活を送れるよう指導していきます。

保護者に皆様におかれましては指導の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

### 1 指導対象内容

- (1) 化粧
- (2) 女子のスカート丈
- (3) 男子生徒のズボンずりさげ、裾の不必要な捲り上げ
- (4) 男女共通のワイシャツ第2ボタンはずし、裾出し

※女子のスカート丈につきましては入学前の採寸時に、学校との契約により製造元の日本メンモ及び各販売業者（ユニフォームスタジオ・東急本店）に以下のように取り扱わせています。

- ①ウエストを腰骨あたりで調整する。
- ②①に合わせてスカートの丈を最短で膝上3cmになるように調整する。
- ③スカート丈は①・②の調整で個々により違い、一律ではない。

### 2 指導方法

- (1) マスカラ・アイシャドー・付けまつ毛・眉染・口紅（色付きリップ）・頬紅・ファンデーション等についてはメイク落とし等を利用し落とさせる。落とせない化粧は再登校し、改善させる。確認は女性教員とし、落とす指導は男性教員も可能とする。

化粧落としの指導場所は登校時の確認における「正門付近」又は「体育館」、校舎内での確認時は「職員室」とする。

- (2) ①ウエスト部分を捲り上げている等の生徒は確認次第、下させる。  
※スカート丈を最短で購入採寸時の膝上3cmになるようにする。  
②裁断等により短く加工している生徒は保護者に連絡し、再購入させる。
- (3) ズボンずりさげ・裾の捲り上げは確認次第、ウエスト部分にベルトが届かせ、ウエスト部分でズボンをはかせ、また裾の捲り上げは下させる。

### 3 指導開始日時

平成27年9月1日（火）第2学期始業式当日から

### 4 事前指導

第1学期中の各学年集会・全校集会を通じて「身だしなみ指導の強化」を生徒に伝えました。

その際、今後の指導に関わる女子のスカート丈の長さ、男子のズボンのずりさげに関係する丈の長さを確認しました。